キャラクター名
浅海 智恵(あさみ ともえ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	キャビンアテンダント
オプショナル		年齢	23	性別	女
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	36 %
出自	天涯孤独	経験	草食系	邂逅	庇護

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	0	1	0			1
精神	6	0	0			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	9	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ボルトアクションライフル	射撃	6r+4		8		マイナーアクションで命中判定+5　同エンゲージ攻撃不可
ボルトアクションライフル	射撃	6r+4		8		同上
ボルトアクションライフル	射撃	6r+4		8		同上
ボルトアクションライフル	射撃	6r+4		8		同上

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
エンブレム：ドロップアウト	
エンブレム：神の落とし子	
メモリー：実の両親	
メモリー：新しい家族	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Ｄロイス：超血統	P	N		
Dロイス：奇妙な隣人	P	N		
盤 迦楼羅	P 執着	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 22	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ブラックマーケット	5		常時	至近	自身	自動		
効果：常備化ポイント+[Ｌｖ*10]								
マルチウェポン	7	3	メジャー	武器		白兵/射撃		
効果：武器の攻撃力を合計して使用する								
ヴァリアブルウェポン	5	3	メジャー	武器		白兵/射撃	リミット	
効果：武器をＬｖ個選択して攻撃力を足す　効果もすべて適用する								
ＣＬ：ノイマン	2	2	メジャー					
効果：Ｃ値-Ｌｖ(下限7)								
コントロールソート：射撃	1	2	メジャー	武器		射撃		
効果：射撃の判定を精神で行う								
オリジン：ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：シーン中にエフェクトを使用する判定の達成値に+Lv								
零距離射撃	5	2	メジャー	至近		射撃		
効果：判定+LvD　射程『至近』になるが同じエンゲージにいるキャラに対して攻撃を行えない武器でも使用できる								
バレットワルツ	3	3	メジャー	武器		射撃	リミット	
効果：『零距離射撃』と組み合わせて使用　攻撃力+[Lv*3]								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

幼いころに両親を事故によって失った女性
その後は親戚もなく孤児院に預けられるものと思われていたが死んだ両親の友人を名乗るベルナールという男性に引き取られる
どうやら両親と同じ所属の研究員らしくその伝で自分を引き取ってくれたのだという

その家にはベルナールとその妻そして小さな娘がいた。
両親の事故にたいしての疑問を抱いていた彼女は最初こそその環境に身を委ねられなかったが、やがてその暖かな家庭の一員となっていく。
だがそんな幸せも長くは続かなかった引き取られて1年ほどした頃にベルナールが実験中の事故によって死んだ。
残されたのは彼の妻と小さな娘のみ、葬儀の最中に震える彼女たちを見て自分が彼女たちを守らなければと考えた。

葬儀の翌日忙しい母の代わりに娘の相手をしていると急に飼っていた梟が口を開き人間の言葉で語り出した。
そして彼からレネゲイドやオーヴァードの存在、ベルナールや自分の両親がどんな研究をしていたのかを知った。
彼はその際に知識を蓄え時を待てと言ったが彼女は我慢が出来なかった。
彼と二人きりになったときに戦う力がほしい訓練できる伝を紹介してくれと申し出た。
最初は難色を示していたものの根気よく説得するうちに折れたようだ。　余談だが娘の方は素直に勉強をして知識を蓄えていた。

彼の紹介でUGNと接触したさいに自分がすでにオーヴァードとして覚醒していることを知った。
どうやら超能力じみたことが出来るわけではないようだが十分に戦える力はあるようですんなりと訓練に参加させてもらえた。

その後は厳しい訓練を受けつつもしかしまだ自分には力が足りないと考えている彼女はあらゆるプロジェクトの実験に積極的に参加し、時には自分の体を検体として差し出しても新しい力を積極的に吸収していった。
家族を守るために